

佐世保日米協会 会報 (第8号)



JAPAN AMERICA
SOCIETY OF SASEBO
Bulletin (Vol. 8)

1992年8月20日発行

佐世保日米協会
佐世保市戸尾町4-5 佐世保中央病院内
☎ 0956-23-5546

平成3年度事業経過報告

- H3. 7. 4
 - ・米国独立記念日コンサート (佐世保基地内体育館)
 - チャーリー永谷&キャノンボール
- H3. 7. 17
 - ・第1水陸両用群司令官コンリー少将歓迎行事
- H3. 7. 25
 - ・定期総会、懇親会 (ホテル万松楼)



懇親会で挨拶されるコリンズ司令官

- H3. 8. 3~4
 - ・西海アメリカンフェスティバル協賛
- H3. 8. 4
 - ・佐世保基地新旧参謀長歓送迎行事
- H3. 8. 14
 - 西太平洋洋上支援隊司令官トービン少将歓迎行事
- H3. 8. 15
 - ・ビューフォート号艦長交代式
 - SKUDIN少佐から
 - SEPLUVEDA少佐へ
 - (立神岸壁ビューフォート号艦上)



離任スピーチをするSKUDIN少佐

- H3. 10. 13
 - ・西太平洋洋上支援隊司令官トービン少将歓迎行事
- H3. 10. 15
 - ・太平洋艦隊水上部隊司令官ベネット中将歓迎行事
- H3. 10. 31
 - ・米国アルバカーキ市親善訪問団歓迎行事
- H3. 11. 17
 - ・日米親善九十九島ロードレース大会協賛
- H3. 12. 11
 - ・第1水陸両用群司令官コンリー少将歓迎行事
- H3. 12. 13
 - ・セントルイス号艦長交代式
 - PETERSON大佐から
 - LONDOT大佐へ
 - (立神岸壁セントルイス号艦上)
- H4. 1. 31
 - ・九州内日米協会懇談会
 - (福岡・西鉄グランドホテル)

ては深刻である。日本は首まで冷戦構造の恩恵にあった。西側の一員であることでマーケット資源を自由に使うことができた。この仕組みが今はなくなったのである。

歴史を見ると日本は明治以来、殖産振興だけの政策で今日まで来ており、国家戦略上の議論はしていない。つまり、外交を知らず、外交がないのである。戦後の日本外交は、西側の一員としてリーダーに従っていけばよかった。それが、チーム戦の方法である。今、この枠組みが消えた。更に、日本人の精神構造を覗くと日本は島国なので議論など徹底して相手を負かすと住みずらくなり、曖昧にしておくことが日本人の優しさでもあった。そして、この曖昧な性質が冷戦構造の中では良かった。だが、世界の外交では今後ははっきりさせねばならない。敵を作らないと外交ではやって行けない。敵を作るといことは自分はこうであると主張して仲間を作ることでもある。

日本人の曖昧な性質・風潮は、我が国の政治から行政・マスコミまで同じであり、特にマスコミの場合、全部建前論になっている。また政治に目を向けると戦後の冷戦構造そのままに、自民党西側、社会・共産党東側となっておりもう四十年以上になにを議論しても同じで不毛となっている。早く日本の冷戦構造を終わらせねば！

旧ソと北朝の展望

旧ソ連はC I S独立国家共同体となった。このC I Sは旧中央政権を否定することが共通の目的であった。C I SがC I Sたりえるのはスターリン体制下で共和国が分業体制にあって一共和国だけでは独立できないためだ。しかし、共通の目的である中央政権否定の目的は達成しており、今後は注目に値する。

私は旧ソ連は十年かそこいらでは立ち直れないと見ている。逆に民主主義にすぐに行く前に強力な強権的政権が出てくるのではないかと思う。エリチンも市長選を一年間停止したように強権的勢力でもある

アジアをみるとヨーロッパ諸国の混乱が教訓となっている。朝鮮半島もあまり早い統一は混乱するだけである。北朝鮮の冒険主義はイラクが叩かれたのを見て抑制されている。しかし、楽観はできない。北朝鮮の核問題、これは、長引くのではないか。何故なら、北朝鮮のカードはこれ以外になく、これを手放すと無力となって南に吸収されるからである。

結論・米国との相互依存を

今は日米安全保障条約を再認識する時である。だから、日本は平和の代償を食るときではない。ここで、日米安全保障条約の目的を振り返ると①ソ連の拡張主義を止めるため。②地域の安定のため。などがあげられる。極東の第七艦隊は極東ソ連の軍備に比べて小さく対ソ連用とは言えまい。結論

は第七は東南アジア・インド・中東まで即座に対応出来る地域の警察である。歴史を見ると東アジアは大国である中国・日本・ソ連の三国が争ってきた。東アジアでの米国伝統的戦略はこの三国の内の一つが、強大な国となったときバランスをとるために弱いほうに味方した。日露戦では日本に、日中戦では中国に、協力した。このことから、米国は日米安保を東アジアのバランスとして用いたと言えよう。国連に力がない以上日本もこれを支持すべきだと思う。

安保がないと日本は中国との軍事力を比べたり疑ったりするようになる。米国がいるとそんなことはしない。今後更に、日米は今までの枠組みとして新しい枠組みを重複させ、切っても切れない仲になることが望ましい。相互依存が増せば摩擦も増えるが同士の意識をもつことである。身を守る。国を守る。世界を安定させる。これが私の意見である。

(虹平成4年5月号より転載)

★英会話教室のご案内★

当協会ではご婦人方を対象とした『坂田記念英会話教室』を開講しております。クラスは初級と上級の2クラスございます。受講を希望される方は事務局までご連絡下さい。

日 時 毎週金曜日 初級 14時～15時
上級 13時～14時

場 所 県北会館4F

期 間 1期 9月～12月
2期 1月～3月
3期 4月～7月

会 費 3,000円(1期につき)

佐世保日米協会

佐世保市戸尾町4-5

佐世保市中央病院内

TEL 0956-23-5546

監 査 報 告

佐世保日米協会 平成3年度事業報告、一般会計収支決算報告書、並びに関係書類について、監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めたので、これを報告いたします。

平成4年7月8日

監 事 坂 口 光 廣

監 事 浦 川 正 保

平成4年度事業計画（案）

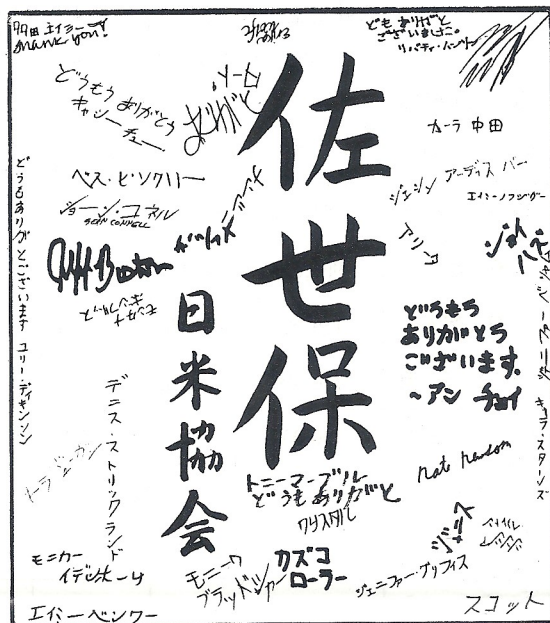
1. 講演会、研究会（年2回程度）の開催
 - ・7月
 - ・10月
2. レクリエーション関連事業

・グランドピクニック	5月
・クリスマスパーティー	12月
3. 親善事業

・西海アメリカンフェスティバル協賛	8月
・ベローウッド号入港歓迎行事	
・日米親善ロードレース協賛	12月
・アメリカ艦船入港歓迎行事	随時
・ボランティア表彰	年間12回
・その他	
4. 英会話教室の開講
5. 姉妹都市親善交流事業
 - ・アルバカーキ市
 - ・サンディエゴ市

お 知 ら せ

アメリカワシントン州日米協会では、毎年、アメリカ人高校生を対象にした日本語サマーキャンプを行っています。当協会では、佐世保こまなどの民芸品をサマーキャンプに役立ててもらおうと送ったところ、キャンプに参加された皆さんよりお礼の色紙が届きました。



講 演 会 平成4年4月3日 農協会館にて

「世界の変化に対する日本の対応」

西 廣 整 輝 氏

今、世界は途方もなく大きく速く動くようになっている。何百年も続いたロシアとの戦後の冷戦構造は終わり、核戦争の恐怖は消えたがパンドラの屑籠が開いたのと同様に今まで押さえていた問題が吹き出した。この為、以前までの座標軸が失われ、敵も味方もいなくなり、つまり、だれでも敵であるという状況が生じる危機となった。ここで、歴史をたどってみると第一次大戦、第二次大戦、戦後と強力な米国主導の自由主義陣営と全体主義陣営の対立で今日まで来たのである。しかし、米国も力がなくなり孤立主義に帰りたくなっている。自由主義だけが残った世界は、ここ数百年の構造とまるでちがうため不安定さがあり、こういう中で日本がどう協調してやっていくのか考えねばならない。そこで、今、地球を覆う問題点は何かを見てもみると、短期的には兵器が安全管理されていないということである。また、長期的には人口問題である。環境問題とは実は人口問題のことであり。人口は年率四％ずつ増え続けている。日本の生活水準から見ると地球は三十億しか住めない。そのため、将来には資源など収奪戦をしなければならなくなる。これをどう避けるのかが先進国の課題である。

日本の外交情勢に改善を

さて、このような世界の状況から日本を見ると、日本にとっ